

# 魂をゆさぶれ!!

## 第23回 津軽三味線全日本金木大会

平成23年5月4日・5日（2日間開催）

青森県五所川原市金木町金木公民館大ホール

### <問い合わせ・申込>

〒037-0202 青森県五所川原市金木町朝日山 189-3

津軽三味線会館内／津軽三味線全日本金木大会実行委員会

TEL : 0173-54-1616 FAX : 0173-54-1023

Mail syamisen@kanagi-gc.net

URL <http://www.kanagi-gc.net>



第22回大会 仁太坊賞 葛西頼之（青森県）

主催 津軽三味線全日本金木大会実行委員会

主管 NPO法人かなぎ元気倶楽部

共催 全日本津軽三味線友の会

五所川原市教育委員会

後援 東奥日報社／陸奥新報社

NHK青森放送局／エフエム青森／RAB青森放送／ATV青森テレビ

ABA青森朝日放送／五所川原市観光協会／五所川原商工会議所

金木商工会／金木あすなろ商店会

「平成23年度 原子燃料サイクル事業推進特別対策事業」として実施しております。

# 大会開催のご案内

審査委員長 大條和雄

明治維新のスローガンは富国強兵、殖産興業、そして欧化政策でした。それを推進していたのが明治の元勳岩倉具視でした。が、外国の要人との交流によって民俗芸能はスローガンと同じ重要な分野であることに気付きます。

靖国神社に能楽堂がありますが、実は欧化政策から日本芸能を見直した証として明治十四年に芝公園に建築され、明治三十年に現在地に移設されました。ですから演ずる人たちは伝統芸能を伝承するという義務感と責任感とそれに誇りを持っていました。

さて、津軽三味線は能には足元にも及ばない芸能です。けれども後世において日本の芸能とは・・・と指を折って数えたとき、雅楽、能楽、歌舞伎、文楽、それに加えて津軽三味線を五指に入る音楽芸能に発展させるか、どうかは、一にも二にも本金木大会へ出場される選手の皆さんの双肩に掛かっているのです。

津軽三味線発祥の地金木町へ足を運び、先達の霊に合掌することは津軽三味線史の第一関門通過の手形的な意味があります。そして大会で演奏することは華やかな「花」なのですが、その花が造花なのか生命のある生花なのかに大きい課題があるのです。

「津軽三味線生花理論」とは根っこがあって、茎があって咲く花、のことで、それは歴史、つまり連続性の大切さを喩えた私論ですが、弘前大学人文学部ではこの私論を教育に取り上げました。

国際交流センター、二十一世紀教育センターの新カリキュラムに「津軽学」として『津軽三味線の歴史と実演』の講座が設けられております。私は人文学部の講師として平成十六年度から教壇に立っていますが、学生は皆さんが演奏する「花」と同じ次元で学問に勤しんでおります。こうした総合的な研さんの積み重ねによって日本芸能五指入り評価の時代が到来すると思います。そのことを皆さんと夢見たいと思います。

## 審 査 に つ い て

(本大会審査会より)

津軽三味線全日本金木大会は、一貫して「人真似でない自分の三味線を演奏すること」を求め、国籍、流派、門下にかかわりのない個性を評価してきました。この姿勢が若手の登竜門とされる本大会審査の特徴であり、津軽三味線ブームに一定の役割を果たしたと自負しております。

しかし、近年は芸能界における津軽三味線の多様なポテンシャルばかりが露出し、本来津軽三味線が津軽民謡の伴奏楽器であることをないがしろにする傾向が目立ちます。原点である津軽民謡を深く理解しなければ本物の味わいは生まれるはずもなく、日本の民俗音楽としての伝統も守れないのではないかと深く危惧するところです。

このことは、全国各地の大会審査においても共通した見解であろうかと思えます。ここが審査において重要な部分である事は本大会においても同じです。

近年は学校教育の場で津軽三味線の演奏が普及しつつあり、まことに喜ばしい事ですが、本来は唄の伝承と並行させ、唄と三味線が抱き合わせであることが原点を見つめ直すことにおいて理想的です。このことで間合いや撥付けといった審査部分も理解出来るし、曲弾きの個性的なアドリブ展開にも生きてくるのではないのでしょうか。しかし、両面での指導者確保に難しさがあって理想とかみ合わない現実があります。

一例ですが、ここ金木町の NPO 法人かなぎ元気倶楽部では、「津軽民謡チャレンジプログラム」を開催しており、地元の高校生らによる三味線と太鼓の伴奏で幼児から老若男女までが嬉々として津軽じょんから節や嘉瀬の奴踊りなどを合唱しております。このことは新たな土壌の耕起と種まきを意図しており、民俗芸能伝承への実験的な取組と言えましょう。

本大会実行委員会ではこのような複合的な取組が各地で行われる事で津軽民謡と津軽三味線の原点回帰につながることを期待しています。

本大会は津軽三味線発祥之地として、始祖「神原の仁太坊」の指導哲学にのっとり、総合的な技量と津軽民謡の理解度、そして困難に立ち向かう精神力を量ることを目的として、第20回記念大会より最高の実力を競う個人一般の部A級において勝抜き戦を実施致しております。今大会もA級は迫真の「真剣勝負」が展開されることでしょう。

## 第23回 津軽三味線全日本金木大会 開催要綱

- 1 日 時 平成23年5月4・5日の2日間 午前9時より開始
- 2 場 所 青森県五所川原市金木町 金木公民館大ホール
- 3 種 目

<個人の部>	定数(人)
(1) 小学生以下の部	30
(2) 中高生の部	30
(3) シニアの部(60歳以上)	30
(4) 一般の部C級(習得年数5年未満60歳未満)	30
(5) 一般の部B級(習得年数5年以上60歳未満)	30
(6) 一般の部A級(習得年数を問わず60歳未満)	なし
<団体の部>	定数(団体)
(1) 小学生以下の部(演奏者3人以上の団体)	5
(2) 中高生の部(演奏者3人以上の団体)	10
(3) 一般Bグループ(3人以上10人以下の団体)	10
(4) 一般Aグループ(11人以上の団体)	5
<b>注意事項</b> ・団体の申込人数については <u>大会当日の増員は認めません</u> 。(減員は可能) 流動的な場合は、あらかじめフルメンバーでお申込下さい。 受付期間内での増減の変更は可能ですのでお早めにご相談下さい。 ・ <u>団体へエントリーする際は一人一部門一グループ</u> とさせていただきます。 (掛け持ちの場合はグループが失格となります)	

#### 4 参加資格と定数

国籍・流派・門下・所属等は問いません。

地域振興のために参加希望者には可能な範囲で対応します。

#### 5 演奏規定(個人の部 小学生以下、中高生、シニア、一般B・C級) (団体の部 全部門)

##### (1) 演奏曲目

<個人の部>

自身が得意とする「津軽民謡の曲弾き」を一曲披露します。

<団体の部>

団体の部はオリジナル曲でも可とします。

##### (2) 演奏時間

<個人の部> 3分以内

<団体の部> 4分以内

##### (3) 出場順番

主催者において厳正に抽選します。(抽選はパソコンソフトで行います)

大会出場者には、4月中旬にプログラムを郵送致します。

## 6 演奏規定（個人の部 一般A級）

トーナメント方式による勝抜き戦です。

### （1）演奏曲目

- ・津軽五大民謡（じょんから・よされ・あいや・小原・三下り）の中からラウンドごとに課題曲を発表します。
- 各ラウンドの直前に客席からの抽選で課題曲を決定します。（重複無し）
- ・新節・旧節・中節・新旧節の選択については自由です。

### （2）出場順番

- ・当日の受付は12時までにお越し下さい。
- ノーシードの選手は始めに1回戦の抽選をいたします。
- 参加人数によっては1回戦をシードされる場合もあります。
- ・前年ベスト8の選手は1回戦がシードされますが、1回戦終了後に再抽選でトーナメントを組み直します。
- 2回戦からはシード同士の対戦もあります。

### （3）審査方法

- ・一対一の曲弾き対決とし、審査員による勝敗の選択を電光掲示致します。
- ・トーナメントの進行状況は大型スクリーンで放映します。

## 7 申込み方法

### （1）申込先

〒037-0202 青森県五所川原市金木町朝日山 189-3  
津軽三味線会館内 津軽三味線全日本金木大会実行委員会  
電話 0173-54-1616 FAX 0173-54-1023

- ・メールでの申し込みも可能です。
- メールアドレス/syamisen@kanagi-gc.net
- ・要綱・申込書はホームページでも公開します。
- ホームページアドレス <http://www.kanagi-gc.net>

### （2）参加料(記念品を含む)

個人出場者・・・・・・・・・・3,500円  
団体出場者・・ 1人につき 2,000円

### （3）申込み方法

現金書留または銀行振込でお申込み下さい。  
銀行振込をご利用の方は、速やかに申込用紙をメールまたはFAXで送信して下さい。

○振込口座 青い森信用金庫 金木支店 カギシテン  
普通預金 0166148  
津軽三味線全日本金木大会 ツガルシャミセンゼンニホンカギタカイ

○現金書留ご利用の方

受領証が必要な場合は、返信用封筒（80円切手貼付）を同封して下さい。

### （4）申込み期間

平成23年2月1日～3月31日

期間外ならびに当日申込はお受けできません。

キャンセルの際の申込金は上記期間内であれば返金可能です。（手数料差引）

(5) 大会日程・競技順序・予定時刻

定数から見た時間配分です。参加者数が決まり次第、後日プログラムにてお知らせしますのでご了承下さい。

< 1日目 / 5月4日 >

開会式	8時50分	10
1. 個人小学生以下	9時00分～10時30分頃	90
2. 個人中高生	10時40分～12時10分頃	90
昼休み(アトラクション)		
3. 団体小学生以下	13時10分～13時30分頃	20
4. 団体中高生	13時40分～14時20分頃	40
講評・結果発表・表彰式		
5. 個人シニア	14時40分～16時10分頃	90
6. 個人一般C級	16時20分～17時50分頃	90
講評・結果発表・表彰式		

< 2日目 / 5月5日 >

開始挨拶ほか	8時50分	10
1. 個人一般B級	9時00分～10時30分頃	90
2. 団体一般Bグループ	10時45分～11時05分頃	40
3. 団体一般Aグループ	11時15分～12時35分頃	20
昼休み(アトラクション)		
講評・結果発表・表彰式		
4. 個人一般A級	13時30分～15時50分頃	150
講評・結果発表・表彰式		
仁太坊賞受賞者再演	16時15分頃終了	

(6) 当日受付時間

午前8時00分から随時受け付けております。

各部門の予定時刻を参照の上、遅滞なくお願いします。

予定時間はあくまで目安です。

※当日のご連絡はこちらの携帯へ(携帯番号:090-1376-1737)

8 表彰

< 個人の部 >

各級共通・特別賞を含む8人まで表彰されます。

○1位から3位まで・・・賞状・トロフィーまたは楯・賞金

○入賞・・・・・・・・賞状

○大條和雄賞

・ 個人・中高生・シニアの部/各2名・・・賞状・楯

・ 個人・一般の部B級/2名・・・賞状・楯

・ 個人・一般の部A級/2名・・・賞状・楯

○参加賞/参加者全員

仁太坊賞／個人一般の部A級優勝

津軽三味線の始祖、仁太坊にちなむ賞です。受賞者は「仁太坊まつり」においてゲスト奏者として演奏していただきます。（9月予定）

白川軍八郎賞／個人一般の部A級準優勝

金木町不動林出身、仁太坊最後の弟子、津軽三味線の神様と称される白川軍八郎にちなむ賞です。

黒川桃太郎賞／個人一般の部A級3位（2名）

金木町嘉瀬出身、始祖仁太坊の弟子、津軽民謡中興の祖、通称「嘉瀬の桃」にちなむ賞です。

大條和雄賞

津軽三味線ルーツ解明者、大條和雄氏にちなむ賞です。

個人各級(小学生・C級を除く)の中からオープンで選出されます。

<団体の部>

各グループ共通で6組まで表彰されます。

○1位から3位まで・・・賞状・トロフィー・賞金

○入賞・・・・・・・・賞状

○参加賞／参加者全員

9 審査委員（予定）

審査委員長	大條和雄	（作家、津軽三味線ルーツ解明者）
審査委員	阿保敏秋	（弘前市立東部公民館 館長）
	工藤弘之	（東奥日報社 五所川原支局長）
	石岡 優	（陸奥新報社 五所川原支社長）
	成田 太	（財団法人日本民謡教会 青森竹泉津軽）
	荒関裕子	（箏曲演奏家）
	工藤信悟	（ギタリスト）

10 文化イベントのお知らせ／5月3日開催

津軽三味線史跡巡りバスツアーを開催致します。参加料は無料です。

時 間： 午後15時～17時

案内者： 大條和雄

内 容： 津軽三味線ゆかりの地を巡ります。

○金木公民館発

○川倉地蔵尊（供養祭）

川倉地蔵尊本堂において先達の供養祭と献花を行ないます。

○神原集落（仁太坊の里碑・仁太坊生誕百五十年記念碑）

○金木公民館着

申込み： バスの手配上、出場申込書の下欄に記入または事務局へ電話連絡して下さい。

11 その他

当日のプログラムは50円の有料化となります。

本大会の運営継続にあたり、皆様のご理解とご協力をお願い致します。